

海外インターンシップ報告書

氏名	櫻井咲綺
所属	鹿児島大学理学部3年
渡航先	マレーシア

※しばらく体調不良のため、事務局で渡航中の日報よりまとめさせていただきました。

1. 参加目的

私は、この海外インターンを「自分を見つけるきっかけ」にしたい。私は今3年の後期で、将来について本腰を入れて考えなければならない時期である。しかし、自分が本当に何をしたいのかがわからない。だから様々なことを経験したいと思っているが、最近何をするにも手をつけるがやりきれず、諦めがちである。何のために行動しているのかわからなくなったり、周りにはもう就活していて焦りを感じたりして、将来について考えるのが億劫になり、逃げてしまっている。だから一旦落ち着いて「将来」というより「自分」について考えたい。海外に行きたい理由は、様々な考えに触れたいからである。日本しか知らない私にとって、海外は異世界。日本人のなかでもそれぞれ個性はありますが、やはり文化が違えば考え方はいくらか違うと思う。いろいろな人の考えに触れて、自分の考え方を広げたい。この海外インターンで一度原点に戻り、自分の感覚に正直になって、自分と向き合って、等身大の自分を知りたいと思っている。

2. 大変だったこと・つらかったこと

出発だったはずの日に、航空券を間違えて母の名前にしてしまい、取り直しになって翌日に至りました笑

航空券を買うときは確認しまくるということを学んだ！！！！

それだけではなく、何事も確認が大事であることを学んだ。

3. 楽しかったこと

ゲストハウスで黒酢飴をあげたマレーシアに住んでるケイシーが助けてくれました。さらに、「ペナン島案内しようか?」と言ってくれ、私が行きたいところ全部一緒に回ってくれました。最初は流石に「まさか詐欺師??」と疑いましたが、本当に優しい人でした。回り終わったあと、ゲストハウスで彼と別れるとき。感謝の気持ちをちゃんと言いたいの、「ありがとう、とてもいい時間を過ごせた」くらいしか言えず、本当に英語勉強しなきゃと痛感しました。

4. 達成できたこと

5. 渡航前と渡航後の自分自身の変化

6. 現地での商品の反応

7. 商品が現地で広まるためには、どうする必要がありますか。

8. 海外インターンシップを通して、あなたにとって「働くとは?」何ですか。

正直わかりませんが、こういう体験がありました。

スリランカに住んでいる 30 歳くらいの女性なほさんと、一個下のりょうくん。3人で夜中3時まで喋りました。

話題は就活と恋愛と将来について。

インターン参加理由にも書いたのですが、私はもう 3 年後期だというのに、就職について考えるのが億劫になっていました。しかし、なほさんは、いろんな壁にぶつかるも自分のやりたいことへまっすぐ進んでいて、こんな将来なら前向きに考えられるなと思いました。

また、自分の本当に向いてるものが分からないという、「いくつになっても探すと思うよ」と。それに、私は最初に就職した場所にずっと居座るべきと考えていて転職にプラスなイメージがなかったのですが、「自分がこうしたいから辞める」という理由があれば転職すべきだし、とりあえず就職してみれば?と言われ、なんか固く考えすぎていたのかなと思い、気持ちが少し楽になりました。

9. 現地での活動を振り返って、感じたこと

私は「大学でこれをやり遂げたんだ」というものがないために、自信がありません。でも今回自分から話しかけていろんな人の話を聞いたり話したりして、「案外自分やるやん」って思えました。自信がついたのはとてもいい事と思っています。

